

### 【移動市長室】

1月10日に、三次真一郎常陸大宮市長が来校し、常陸大宮市移動市長室が行われました。移動市長室が学校で行われるのは初めての事です。当日は、3年生57名が参加し市長と意見交換を行いました。

まず、市長から「常陸大宮市のよいところ」「これから必要なもの」という質問が出され、3名の代表生徒が「観光となる資源は市内の各地域ごとにあるが、それぞれに整備をした上で宣伝が必要」「市の中心部には店もあり便利などところもあるが、街としての活気が欲しい」「ゴルフ場がたくさんあり、安くプレーできる。」「電波がもっとよくなって欲しい」と答えました。続いて、生徒からの「常陸大宮市の将来について」という質問に、市長からは、「常陸大宮に来る人たちから自然の素晴らしさを褒められるので、山や川などに恵まれた常陸大宮市の地域全体が市の財産であり自然博物館としての役割も担えるので大切にしていきたい」と回答しました。また、「少子高齢化と人口の減少に対する対策」に関する質問には、「子育て支援の充実、起業する人を支援、交流人口を増加」などの施策を実施しているとの話を頂きました。

代表として意見交換した生徒は、「意見交換をする機会を持てて嬉しかった」「具体的な施策を実施していることがわかった」という感想を述べていました。



### 【読み聞かせ】

12月19日と1月16日に常陸大宮市立おがわ幼稚園，1月11日に常陸大宮市立美和小学校で、3年生の6名が絵本の読み聞かせを行いました。

おがわ幼稚園では、園児たちが満面の笑みで出迎えてくれ、口々に「楽しー」と歓声を上げていました。いよいよ読み聞かせが始まると、静かに聞き入っている様子でした。また、場面が変わるところでは身体を乗り出したり、びっくりするような場面では身体をすくめたりと、絵本の世界に引き込まれていました。

美和小学校では、1年生と2年生に読み聞かせを行いました。どの児童も姿勢を正し、真剣な表情でじっとりと耳を傾けていました。

参加した生徒からは、「真剣な表情で見つめてくるのでとても緊張したけど、表情や声色、間の取り方などに気をつけながら読むことができました」「読み終わった後の一瞬の静けさに不安になったけど、嬉しそうな、満足そうな表情をしてくれたので安心しました」などの感想がありました。

